

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、昨年度、一昨年度と書面議決により実施した本総会ですが、今年度は、3年ぶりに対面での開催となりました。会員数853名のうち、出席会員および委任状による出席あわせて501名であったことから、本会規程第19条に基づき、総会は有効に成立いたしました。

役員会・総会に先立ち、今年度の会長、副会長及び監事の選任報告がありました。その後、新入生保護者役員の選出、令和3(2021)年度事業報告・決算及び令和4(2022)年度事業計画・予算が承認されました。

会長:竹下 貴子 副会長:井上 幸子 監事:岩佐 純子(敬称略)

また、令和5(2023)年に大学の開学20周年を迎えるにあたり、平成30(2018)年度より積み立ててまいりました周年記念積立金の使途に、複数の授業教室において、経年劣化の進んだ机および椅子の入替えやその他学生の学修環境整備経費に充当することをご承認いただきました。今年度中に机・椅子の選定を行い、設置を完了する予定です。

今後も後援会では、いただいたご意見を踏まえ、よりよい教育環境の提供をすべく事業の充実を図ってまいります。保護者の皆様には、引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

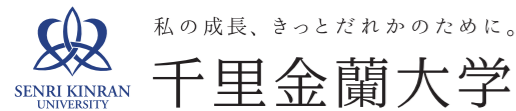


千里金蘭大学 後援会事務局(千里金蘭大学内事務局)
本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。
<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

年間スケジュール(後期)

2022	2023
10月 16日(日) 総合型選抜基礎学力型A日程	1月 6日(金) 授業開始
22日(土) 総合型選抜基礎学力型B日程	13日(金) 臨時休講
11月 3日(木・祝) 祝日授業日	14/15日(土/日) 大学入学共通テスト
5/6日(土/日) 大学祭	19日(木) 一般選抜(前期)、臨時休講
20日(日) 総合型選抜チャレンジAOⅢ期	23日(月) 後期最終授業日
12月 18日(日) 総合型選抜基礎学力型C日程	24日(火) 授業予備期間(1/24-30)
23日(金) 年内最終授業日	31日(火) 専門科目、保育・教職科目
27日(火) 冬期一斉休業(12/27-1/5)	調整期間(1/31-2/2)
	2月 15日(水) Web成績発表
	19日(日) 一般選抜(中期)、 総合型選抜エクステンドAO(2月実施)、 大学院入試(後期)
	3月 4日(土) 一般選抜(後期)
	7日(火) 保護者宛成績発送
	15日(水) 学位授与式
	17日(金) 総合型選抜エクステンドAO(3月実施)

※表紙の写真は、令和3年度文部科学省大学改革推進等補助金に採択されたVR(仮想現実)機器を活用した授業風景です。



千里金蘭大学 広報室

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1 tel.06-6872-7854

発行/令和4(2022)年11月30日

大学web <https://www.kinran.ac.jp/>

公式Twitter <https://twitter.com/senrikinranuniv>

受験生応援サイト <https://www.kinran.ac.jp/cheer/>

受験生応援ブログ <https://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>

広報サークル Instagram kinran.pr.circle

編集後記

今号では、福島新学長に学生時代のエピソードなど色々なお話をお伺いしました。今、学びの最中にあり、これからの社会を生きていく学生の皆さんに是非読んでいただきたい内容です。

11月5日(土)、6日(日)に開催された大学祭では、さまざまなイベントやクラブ発表、模擬店などが催され、近隣の皆さまにも多数お越しいただきました。3年ぶりの通常開催で、準備が大変だったにもかかわらず、無事成功させた大学祭実行委員の皆さん・学友会委員の皆さん、本当にお疲れさまでした。

私の成長、きっとだれかのために。



- 01-02 新学長の就任について
学長メッセージ/学長インタビュー
- 03 学科MESSAGE
- 04 部局MESSAGE
- 05-06 ゼミ探訪 vol.14・15
- 07-08 学園祭「百花繚蘭祭」
- 09-10 クラブ紹介
- 11 令和4(2022)年度 後援会総会報告
年間スケジュール

Message 学長メッセージ



千里金蘭大学 学長
福嶋 教偉

自ら学び、人の役に立ち、
人への優しさをもった女性に

千里金蘭大学の建学の精神「学び、人の役に立つ」は、金蘭会学園が110年以上前から受け継いできたものですが、この精神は、多くの女性が社会に出て活躍するようになった、まさに現代の日本にふさわしいものです。その精神を培うために、本学は自分の知識や技術を高めるため自ら学び、夢を描き、さまざまな人と出会い、そして社会や人に役立つ女性を育成することを目指しています。そのため、本学は、2022年に大学院看護学研究科を開設し、2023年には女性が社会で大きく羽ばたける栄養、教育、看護の3学部体制として出発します。

みなさんが管理栄養士、小学校・幼稚園教諭、保育士、看護師、保健師、助産師、さらには養護教諭、栄養教諭として、社会で活躍できるように本学で知識や技術を研鑽していただきますが、どれも命のある人に関わる職種であり、ここ、千里金蘭大学で「命の大切さ」を尊び、人への優しさの心も培ってほしいと願っています。

Interview 学長インタビュー

本学や本学の学生に
どんな印象をお持ちですか。

私は、長年本学に近い大阪大学医学部附属病院、国立循環器病研究センターに勤務し、平成24年から本学の救命救急学演習の2講座を担当してきました。新型コロナウイルス感染症蔓延のため現在中止していますが、平成24年8月から「臓器移植を受けた子どもたちのサマーキャンプ」に本看護学部学生がボランティアとして10名程度毎年参加してくれていました。本年4月からは看護学部全学年に関わっています。

その中での印象になりますが、本学は女性が社会に羽ばたくことのできる3つの分野を専門としていて、各専門分野の教員が、知識と技術の教育にとどまらず、人間形成、そしてキャリア形成に専心していることを実感しています。各分野の教育の開始前に入学前教育講座を設けたり、国家試験の対策や教員採用試験の面接の練習など非常にきめ細かい指導を行ったりしていると思います。

本学の学生は、非常に明るく、礼儀正しいと思います。サマーキャンプに参加してくれた学生の印象になりますが、とても仲良しで、率先して参加した子たちの世話をしてくれていました。COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の影響で対面授業が減り、以前と比べて、やや社会的交流が不得手になっていると感じますので、COVID-19が早く終息することを期待しています。

学長が目指す
千里金蘭大学像について。

来年度から栄養学部、教育学部、看護学部の3学部と大学院看護学研究科の体制が始まります。これらの分野は繰り返しになりますが、女性が社会に羽ばたくことのできる分野です。お互いの分野は、密接に関わっていると思いますので、ぜひ連携した教育システムを構築したいと思っています。

また、社会人教育も重要な本学の使命と考えています。本学卒業生を含め、すでに社会に出た看護師、管理栄養士、教員の知識と技術をさらに研鑽するようなプログラムも行ってほしいと思っています。具体的には大学院の強化に加えて、特定行為研修、リカレント講習会、小児の療養支援士・保育士研修、臨床栄養研修など、本学に特化したプログラムを開設したいと思っています。

これから本学の学生に
期待することは？

どんな夢でも良いので、夢を持ってほしいと思います。入学前から夢を持っている学生は、本学で夢を叶えるための、知識、技術、そして心を養っていただきたいと思っています。まだ夢がはっきりしていない人は、ぜひいろいろな友達を作り、教職員とも関わりたいと思います。

学長ご自身の学生時代のことについて
お聞かせください。

私は、子供の頃から、勉強ということばが嫌いでした。その代わりに、自分の知識や技術を高めたいという気持ちから、自主的に学ぶ、勉強という言葉が好きでした。でも、がり勉ではなかったと思います。高校時代は、朝7時からバドミントンを練習し、放課後は美術部・文芸部などの部活や、生徒会活動で毎日午後7時くらいまで学校にいました。卒業間際まで放課後校庭を走っていて、先生に「どうするつもりや」と思われていました。1年浪人して大阪大学医学部に入学して、本当は全学のバドミントン部に入部したかったのですが、留年すると両親に迷惑をかけるので、医学部バドミントン部で6回生の夏まで練習していました。その頃の学費は極めて安かった(1年間9万6千円)ので、学費は親に出してもらっていましたが、高額な医学書やバドミントンにかかる費用はすべて家庭教師などのバイト代で支払っていました。社会に出て、知識も技術ももちろん大事ですが、他人とどのように付き合えるかも大切です。バイトや部活などで勉強する時間は他人より短かったと思いますが、短い分集中して勉強できました。

学生の皆さんには、もちろん勉強にも励んでほしいですが、ぜひ部活やボランティアなどで、多くの人と接し、「こころ」も成長させてほしいと思います。

「座右の銘」にされている
言葉があれば教えてください。

私の「座右の銘」は「初心忘るべからず」です。

1968年、小学校6年生の時に国内初の心臓移植をニュースで見て、臓器提供に困難さを感じ、「心臓を造って、人を助ける」ことを夢見て、大阪大学医学部に入学しました。初めは研究者になるつもりでしたが、「人を助ける」ためには臨床現場を知るべきと考え、緊急時に対応できる外科医、最終的には心臓血管外科医になりました。当初「心臓を造る」夢を持っていたのですが、誠心誠意治療しても死んでしまう重症心不全の子どもを目の当たりにしたとき、「心臓を造れる」ようにするまで何十〜何百もの子どもを看取らなければならないと思いました。

その折、後に私が師事するベイリー教授が世界初の赤ちゃんの心臓移植を成功させたのを知り、心臓移植の道に入りました。私の初心は「心臓を造る」こと以上に、「人を助ける」ことでしたので、国内で子どもが心臓移植手術を受けられるようになるように20年以上奔走しました。まだまだ数は少ないですが、昨年末までに60人の子どもが心臓移植を受けることができました。

人は成長し、社会に入り、社会的な立場が変わると、どうしても初心を忘れることが多いと思います。是非、これから社会に入る学生の皆さんには、学生時代に夢を持ち、その夢を忘れずに人生を歩んでほしいと思います。



令和5(2023)年度からの栄養学部及び
教育学部の設置について

本学では、生活科学部食物栄養学科及び児童教育学科を令和5(2023)年度から栄養学部栄養学科、教育学部教育学科へと改組するべく、文部科学省へ設置届出を行い、令和4(2022)年6月23日に届出が正式に受理されました。新学部・学科については、教育内容をより明確に伝えることが主な趣旨であり、教育課程(カリキュラム)の変更を行わないことを条件に、文部科学省に届出を行ったものですので、従来の専門的で質の高い学びを引き続いて展開し、社会に貢献し信頼される人材養成に努めてまいります。

学科 MESSAGE

食物栄養学科

食物栄養学科長 長井 薫

食べ物を供する大切さを学びながら

まだ新型コロナウイルス感染症が続く中、大学生活は通常に戻りつつあり、講義や実習のほとんどは対面実施できるようになりました。この様な中で、国家試験受験者全員合格を目指して4年生と教員が一丸となって頑張っています。主に2年生を対象とした実践ゼミも2年目を迎え、少しずつ充実していています。今年度の実践ゼミでは新たに農作物の栽培が加わりました。前期は、吹田くわいに加え、夏野菜、さつまいも等を栽培しました。また、鹿肉のレトルトカレーを開発し、他大学と売上を競うカレーグランプリにも参加しました(写真)。管理栄養士課程の学生として、食べ物を供することの難しさ、尊さを知ることは大切だと思います。授業以外のこの様な体験も通して、食・栄養の大切さを理解し、伝えられる管理栄養士を目指していただきたいと思います。



児童教育学科

児童教育学科長 島 善信

多様な体験を通して学び、自らの夢を確かにする

1年生の金蘭おやこクラブでは、今年度は当初からの乳幼児とのふれあい体験となりたくさんの学びがありました。2年生のインターンシップ(保・幼・こども園・小)では、保育者や小学校教員の魅力を体感できて将来像を見定める姿がありました。3年生の保育実習では、初めての現場体験を終えて保育の専門家へと一回り大きくなって帰ってきました。また、教育実習(小)では、初めて挑んだ研究授業の手ごたえから教員になるイメージができました。4年生は、幼稚園実習が厳しい環境のなか、全員無事に終わりました。また、こども音楽療育士実習が、福祉施設や支援学校で終了し、全員資格取得の見込みです。オープンキャンパスでは、有志学生のスタッフが見学の高校生や保護者のみなさんに笑顔で話しかけ、施設の案内や授業のアシスタントとして活躍してくれました。多様な体験活動と大学での学びを繋いで、夢の実現に向けて努力し模索し続ける学生たちの姿に励まされています。



「子育てひろばOh!キッズ」で行われた2年音楽ゼミ生と金蘭会高校の生徒による音楽会



「金蘭おやこクラブ」で行われた子ども縁日

看護学科

看護学部長兼学科長 藤田 俱子

夢に向かって充実した学生生活を

今年度は年度当初から対面の授業を行うことができ、少しずつコロナ禍以前の学修形態に戻ってきています。一部の施設での実習はかなわなかったものの、以前のような臨地実習が少しずつできるようになりました。学生の皆さん、ご家族の感染対策がきちんとなされ、大学の取り組みに協力いただきながら、クラスターも発生せずに経過できていることに感謝申し上げます。後期も少しでも充実した学修ができるよう環境を整えて参りたいと考えています。後期には1年生は基礎看護学実習I、2年生はさらに専門の科目が増え、3年生は領域別実習、そして4年生は国家試験に臨みます。これまで以上に健康に留意し、学生の皆さんの夢をかなえるため、充実した学生生活を送っていただきたいと考えています。



- ①2022年7月1日(金)4年の助産学生7名は、助産学実習開始前に「NCPR(新生児蘇生: Neonatal Cardio-Pulmonary Resuscitation)Aコース」を受講しました。真剣に学習し、全員が資格を取得して実習に臨みました。
- ②2年生後期科目在宅看護学概論 第2回「在宅療養生活者の鈴木裕己様にゲストスピーカーとして講義をしていただきました。

部局 MESSAGE

学修・キャリア総合支援センター

センター長 岩谷 智

小さなことの積み重ねが大切です。就職するにせよ、進学するにせよ。わたしたちのセンターはみなさんのキャリア形成を4年間の流れのなかで支援していきます。2年次までに将来計画、3年次に具体的なプラン、4年次に実際の試験対策というのが大まかな流れです。

そのなかで苦い経験をすることもあるかもしれません。そのときには堅忍という言葉を出していただき。落胆は堅忍の敵です。落胆に挑まないとやがて生ぬるさがやってきます。落胆に挑むとは小さなことを積み重ねることにほかなりません。困ったときは3号館3階のセンターまで相談しに来てください。



附属図書館

附属図書館長 登喜 和江

「3学科教員からのお勧め書籍コーナー」第2弾・第3弾

今年度より、新しく「3学科教員からのお勧め書籍コーナー」を設置しました。

学科の学びを楽しく理解できる本が満載のこのコーナー。第2弾は食物栄養学科の推薦で「はたらく微生物」をテーマに、第3弾は児童教育学科の推薦で「子どもの育ちと学び」をテーマに、学科の先生方に選定いただいた、よりすぐりの書籍を展示しました。専門の学びを広げるために、まずはその道のエキスパートである先生方のおススメの本を読むことから始めてみませんか? 第4弾は看護学科推薦の書籍の展示を予定しています。ぜひご期待ください。



教学センター

保護者懇談会を開催しました

9月23日(金・祝)に保護者懇談会を開催いたしました。第1部は「就職セミナー」、第2部は「学科教員との懇親会」および「担任との個別面談」を実施しました。

2年ぶりの開催となりましたが、多くのご参加をいただき、「就職活動に際しての子どもとの接し方がよくわかった」、「先生と直接話ができよかった」などのご意見を多くいただき、本学の教育内容や就職活動、キャリア支援に対して理解を深めていただくことができました。



第1部就職セミナーの様子

研究推進・社会連携センター

センター長 鎌田 洋一

「きんらん保健室ひだまり」の活動について

2020年1月に設置した「きんらん保健室ひだまり」は、千里金蘭大学3学科の教員と学生が企画・運営している、地域の皆様の健康増進をサポートすることを目的とした団体で、研究推進・社会連携センターの重要な活動を担っています。「ひだまり」は、北千里のショッピングセンター、千里阪急百貨店など皆様の身近な場所で、「健康相談・栄養相談」「ロコモ度診断」「小児健康測定体験」などの活動を行っています。



アドミッションセンター

満足度97.7%のオープンキャンパス!

今年のオープンキャンパスも学生スタッフの皆さまのご協力のおかげで、来場者の方からの非常に高い満足度を得て、無事に終えることができました。来場者からは、「学生の方が話しかけてくださって話しやすかった。」「質問にも丁寧に対応してもらった。また、困っていたら、声をかけてくれた。」「キャンパスツアーの時に学生さんがとてもわかりやすく説明してくださって楽しく参加することができた。」などの声をいただきました。



今回のオープンキャンパスは、3月に開催いたします。来年度も学生スタッフの皆さまとともに来場者をお迎えしたいと思います。

Seminar
ゼミ探訪 vol. 14
食物栄養学科
調理学研究室



八木 千鶴 講師

「環境」や「健康」を意識しながら
学生自身の自由な発想で研究

調理学とは、従来「いかにおいしく調理するか」を基本としてきましたが、最近では「環境」と「健康」という視点が加わっています。研究室では、それらを意識したテーマとして、「産業廃棄物のおからを使ったパンの調製方法」や、「インスタ映えするレインボークレープを天然着色料で作製する方法」などがあり、学生自身の自由な発想で研究を進めています。

ここ数年、大阪府の伝統野菜に認定されている「吹田くわい」の調理性を共通研究テーマの一つとして取り組んでいます。吹田くわいは、一般的な青くわいより小粒で味が美味しいとされています。くわいを初めて食べるという学生も多いです。

最近、調理の下準備は「鍋でゆがく」から「電子レンジ」に変化しています。電子レンジを使って吹田くわいのアクをとる最適条件の探索など、基礎的なものから研究をはじめています。また、吹田市主催料理教室が本学で開催されており、ゼミ生が研究の成果を生かし考案したくわい料理やスイーツを市民参加者とともに作り、吹田くわいの普及活動に参加しています。

今年度のテーマは、最近注目されている健康食品素材ケトン体(β-ヒドロキシ酪酸)を利用して肉をおいしく調理する方法と吹田くわいのふりかけ作製です。

さて、研究の一つとして、4号館校舎裏で吹田くわいを育てています。2年生実践ゼミと共同で、バケツ栽培に加えて規模が大きいトロ舟栽培に取り組み、夏休みはゼミ生中心に水やりをし、冬の収穫を楽しみにしています。後期は、管理栄養士国家試験の勉強もしつつ、料理教室、卒業研究発表会、論文作成などイベントが目白押しです。研究を通して「学び、人の役に立つ」という建学の精神をこれからも伝えていきたいと考えています。



student's message

ゼミ生メッセージ

食べることが好きだったので、食物栄養学科を選択しました。楽しく、美味しく、そして健康になれる献立を考え、食べる方を笑顔にしたいと思っています。また、私は栄養教諭の免許を取得するために他の人よりも多く教科をとっています。とても大変ですが、児童と触れ合える教育実習はどの実習よりも楽しかったです。私が八木ゼミを選択したきっかけは、国家試験対策が充実し、何より研究内容がおもしろそうだと感じたからです。今まで得た知識を生かしていきたいと思っています。

三輪 和可 さん

私は、吹田の特産品のくわいでふりかけを作る研究をしています。先輩たちの研究が、くわいの料理に関する研究が多かったので、私たちは、ふりかけを将来的に商品化して、くわいを知らない人に知ってもらいたいと思い、この研究を始めました。くわいとどの市販のふりかけが合うか食べ比べをしたり、くわいの揚げと焼きではどのように硬さが違うのかを調べています。卒業研究発表をいいものにしたので、さらに研鑽を深めていきたいと思っています。

岩本 華奈 さん

Seminar
ゼミ探訪 vol. 15
児童教育学科 発展演習
国際子ども支援学ゼミ

浅井 千晶 教授
谷村 綾子 准教授



国際子ども支援学ゼミは、児童教育学科3年の発展ゼミ(他に保育幼児教育ゼミ、児童教育ゼミ、子ども心理ゼミが活動しています)の一つです。

当初学生3名という小規模ゼミとしてスタートし、「国際」というキーワードを頼りにしながら「やりたいことはなんでもやってみる!」をモットーにゼミ活動を作り上げてきました。学外に出かけることも多く、大学の立地を生かして万博公園内の民族学博物館の特別展を見に行ったり(マダガスカルやモンゴル、アイヌの展示などを見ました)、箕面市立多文化交流センターに施設見学に伺ったり、海外から来日されて子育て中の保護者の方にゲストスピーカーとしてお話いただいたり(出身地がブラジルの方、モンゴルの方、タイの方、エジプトの方、韓国の方...等々)、大阪の鶴橋でフィールドワークをして日本と朝鮮半島の歴史を学んだり、学生のアクティ

やりたいことは
なんでもやってみるが、モットー

ブさを活かして学んでいます。コロナ前は韓国料理のキンパやハワイのパンケーキを作ったりと食べることに熱心なゼミでした。また世界の「ストリートチルドレン」についてみんなで映像や資料を通して学んだり、「フェアトレード」「児童労働」について、実際にフェアトレードカカオを購入してココア作りをしながら学んだりもしています。大学祭でユニセフ募金を募るためのチャリティーショップを開いたり、フェアトレードココアのお店を出したり、夜の花火に合わせてキャンドルロードを実施して、ご来場の皆さんにも喜んでいただきました。

3年生のゼミでの活動から興味を持ち、英語を使った保育活動、世界の子ども兵、日本に在住する海外にルーツのある子どもの学校生活などについて卒業研究にまとめた学生もいます。

今後も体験から学ぶ、をモットーに、進路に関わらず多文化共生社会のあり方や世界中の子どもたちの現状についての幅広い学びを展開したいと思っています。



student's message

ゼミ生メッセージ

モンゴル(ウランバートル)は確実に私が住んでいるところよりも都会だった。一つの国の中で定住し、クラブに出かけるなど都会的な暮らしをしている人と、草原を転々とする遊牧民の両方がいることが興味深かった。国立競技場ではヒップホップのライブが行われ、大変人気があると書かれており、モンゴルとヒップホップという組み合わせが私の中ではアンバランスに思えた。しかし調べてみると、「固有の文化」と呼べるほどに発展しており、モンゴル語の韻の踏みやすさや、貧富の差などの社会問題にも関係しているようだった。(民博特別展感想)

下川 めぐ さん

民族学博物館で実際に展示してある衣装などを見学し、初めて知ること、目にするばかりで驚きばかりでした。その中でも「はらぺこあおむし」と「星の王子様」は、いつもの見慣れた絵本が各国の言語で翻訳されていて興味が湧きました。私の知る絵本が世界共通であることに嬉しくなりました。世界中で読まれている他の絵本が、言語の訳し方で違いがあるか調べてみると、民族性による伝え方の違いなども知れて、もっと世界を知ることができるとともに身近に感じられるのではないかと思います。(民博常設展感想)

高砂 ちな さん



百花繚蘭祭



11月5日(土)、6日(日)の2日間、3年ぶりに大学祭を一般公開し、開催いたしました。
感染症拡大防止の観点から、模擬店の規模を縮小するなど制限を設けながらの開催となりましたが、
両日とも予想を上回る一般の方にご来場いただきました。
ご来場いただきました皆さま、ご出演ご出店いただきました皆さま、
また開催にあたりご協力、ご支援いただきました教職員の皆さまに心より感謝申し上げます。
次年度は以前のように開催できますよう、祈念しております。



Club 01



Cooking Club

部員数は13人で学科関係なく楽しく活動しています!



茶道部

和気あいあいとしたクラブで、

日々茶道上達に向けて練習しています!



Club 04



CLUB Activities

クラブ紹介

本学では現在、
11のクラブ・サークルが
活動しています。

年度途中からでも入部可能です(強化クラブ以外)。
興味を持たれた方は各クラブ部員または、
教学センターまでお問い合わせください。



Club 02



軽音楽部

バンドごとに日程を決めて、阪大4年生のコーチに教えてもらいながら活動しています。

人数が少ない分、先輩後輩関係なく仲良く楽しく活動しています。



箏曲部

Club 05

部員と外部からお越しいただいている先生とで活動しています。

七夕祭り、大学祭などに向けて練習しています。

Club 03



金蘭フィルハーモニー部

「仲良く楽しくのびのびと」をテーマに活動しています。

今年度は七夕まつりや大学祭、外部の演奏会にも出演しました。



Club 07

その他クラブ・サークル

サッカー同好会、ダンスサークル、広報サークル

Club 06

強化クラブ

ソフトテニス部、卓球部、バレーボール部

